こしがや
自治連だより
第72号
【編集と発行】　越谷市自治会連合会　令和３年 10 月１日

令和3年度
団体表彰事業受賞自治会を紹介します

令和３年度の団体表彰事業受賞自治会は、次の３自治会となります。

弥栄町四丁目自治会	蒲生三丁目自治会	グラン・プラーザ新越谷自治会
弥栄町四丁目安全パトロール隊	町内の活性化	Zoom を利用した Web 会議の導入

弥栄町四丁目

蒲生三丁目

グラン・プラーザ新越谷

Zoomの画面（紹介用画面）

越谷市自治会連合会では、住みよい地域社会の創造を目指し、地域の様々な課題を解決するべく、特色ある活動等を行っている自治会に対し、毎年度その功績を称え、表彰しています。

例年、１月下旬から２月中旬にかけて特徴的な活動をしている自治会を募集し、３月に開催される検討委員会において審査を行い、受賞自治会を決定しています。

次ページ以降では、団体表彰事業受賞自治会の具体的な事業内容を紹介します。

令和3年度 団体表彰事業受賞自治会

地域の防犯・防災対策事業

弥栄町四丁目自治会

会長　宗宮　好和

新方川右岸にある弥栄町のなかで四丁目は一～三丁目より5年程遅れて宅地開発が行われ、昭和51年に新興住宅地として生まれました。自治会もこの年に設立され、弥栄町連合協議会に加わり、上位の新方地区自治会連合会のメンバーにもなりました。

昭和57年と61年の台風による弥栄町一帯の浸水被害は、住民には文字通り寝耳に水でした。自治会ではおにぎりを配ったり、市の依頼で各戸の被害状況調査もしました。この浸水被害には二度とも国の激甚災害指定を受け新方川の改修、排水設備の改良などが行われ、以後大きく改善されました。

次に弥栄四丁目を悩ませたのは、不審者の徘徊、空き巣狙い、それに火災でした。これを撲滅しようと平成15年末に有志によって「弥栄町四丁目安全パトロール隊」が結成されました。以来、毎日午前・午後の町内巡回、日曜夜7時の夜回りが行われ、平成25年4月には隊員数77名（男性61名、女性16名）を記録しました。写真のように子供会の親子も参加することがあります。自治会はこの活動を支援し、また感謝しています。最近では、町内の街灯をすべてLEDに取り替えたり、消火器を町内29箇所に設置したりしました。

今年度は四丁目の住民の間の絆をより堅くするために、「弥栄町四丁目をもっと知ろう！」をキーワードにしたイベントを考えましたが、残念ながらコロナ禍のために1回目を開いただけで中断してしまいました。

町内の活性化

蒲生三丁目自治会

会長　大熊　貞夫

蒲生三丁目自治会が平成28年度から4年間取り組んできた活動を報告いたします。

蒲生地区は越谷市の最南端にあり、蒲生地区内の自治会組織は31団体と聞いております

蒲生三丁目自治会は中心部を産業道路、越谷・八潮線が通り、柿木県道、蒲生駅前通り等の交差点を基点に、戸建住居と産業道路の両側は各種のお店・事業所が立ち並ぶ町会です。

従来から自治会活動は実施しておりましたが自治会会員の関心が薄いように感じておりました。どうする事で、町内が活性化出来るか検討した結果、会員に対する対話が少ないと感じ、自治会の行事等の告知方法を改善する、今までの告知方法は7箇所ある掲示板に簡単なお知らせのポスターと、全世帯向けの案内は回覧板方式だったので、見た時は分っていたとしても思い違いや見落し等で、当日、不参加者が出ることが見受けられる為、平成28年度から自治会行事等の告知方法を、掲示板に貼りだすポスターは全面カラー印刷でイラスト・写真等を取り入れ目立つ表題のポスターに改善、全世帯向けの案内用パンフレットも全面カラー印刷でイラスト、写真を入れ、行事で使用出来る金券・抽選券等を記載、全世帯に配布、参加者は当日、会場にパンフレットを持参する方法に替えた。又自治会主力行事開催後、会場の様子を両面カラー印刷のパンフレット「自治会だより」を全世帯に配布。催し物、模擬店、福引風景等会員が楽しみ喜んでいる様子を写真やコメントを入れた書面を毎回作成、裏面には「自治会からのお知らせ」として、今後の行事予定と計画案等も記載、全会員に対して行事計画を早目に知らせる事にしました。

以上改善、改革した事で年々会員の方達が自治会に対する見方が変わり、協力、支援等が増し、行事等の参加率が年々増加、地域一番の賑わいを得る事が出来た。又参加者が増える事で会員同士の挨拶からの交流が生まれ、絆の輪が広がり、自治会の仲間としての共助が生まれた。

自治会の広報活動経費はカラー印刷費等で以前の3倍位増額になるがそれ以上に自治会活動が、活性出来た事で、自治会内に安心・安全な一体感が芽生えた事も報告いたします。

令和元年以降は新型コロナウイルスが発生、人の交流は自粛要請になり、自治会活動も自粛中の現在、早く収束して皆さんと喜び、楽しみが出来る事を期待し、待ちわびています。

Zoomを利用したWeb会議の導入

グラン・プラーザ新越谷自治会

会長　河内　英規

令和2年度にグラン・プラーザ新越谷自治会（以下、「当自治会」

という。）で行った事業活動「Ｚｏｏｍを利用したＷｅｂ会議の導入」についてご説明いたします。

当自治会は、２棟からなる集合住宅を所掌する組織です。

昨年度初頭からの、新型コロナウィルス感染症の蔓延を受け、住居民、自治会役員、班長等への感染リスクを少しでも軽減し、以てエリア内の安心安全を担保すべく、年度当初（令和２年４月１日）よりＷｅｂ会議を導入しました。

具体的には、

１）役員間の情報共有は、Ｌｉｎｅ Ｗｏｒｋｓでの情報共有とＺｏｏｍによるＷｅｂ会議

２）班長向け情報授受は、Ｌｉｎｅ公式アカウント（非開示）の活用です。

Ｚｏｏｍでは集会場での直接対面式の会議（定例月次役員会・各種実施事業の説明会等々）を経ずに自治会活動の実施が可能となり（実際に親睦目的のイベントは中止しましたが、その他の自治会活動は遅滞なく実施出来ました）、又、Ｌｉｎｅ Ｗｏｒｋｓでは役員間の情報伝達や個別案件（各役員担当業務の展開）が直接対面をすることなく可能になりました。

結果、新型コロナウィルス感染症拡大の局面においても、最低限の自治会活動を実施することができました。

令和２年度に実施した自治会加入促進事業の事例を紹介します

令和元年度から３年度までの３年間、越谷市から交付される自治会加入促進事業交付金（各年度 50 万円）を活用し、自治会連合会及び連合会各支部では、自治会加入促進のための様々な事業を実施しています。

越谷市自治会連合会

幅広い世代に向けた情報伝達や、場所や時間を問わずに情報の閲覧が可能となる連合会専用のホームページを作成し、活動内容の紹介や自治会に関する周知啓発を行いました。

桜井地区連合自治会

「自治会は災害から守る頼みの綱（自治会加入促進キャンペーン）」「自治会で安全・安心の輪を広げよう（自治会活動促進キャンペーン）」と記した二種類ののぼり旗を作成し、全自治会に配布して掲示していただき、自治会加入等の啓発を図りました。

新方地区自治会連合会

自治会加入促進及び防犯ののぼりを作製して各自治会に配布し、街頭に掲げることで、自治会への加入促進をアピールしました。

また、ジャンパー・帽子を作製し、各種イベントで着用し団結を図りました。

増林地区自治会連合会

自治会加入世帯及び未加入世帯に対し、自治会活動の重要性を周知するため、自治会活動 PR マスクを作成し、配布しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大により自治会活動が中止となる中、対策を講じた上で事業を再開するため、顔認証体表面温度測定器を購入しました。

大袋地区自治会連合会

コロナ禍における自治会事業への参加者の安全管理を目的として、大袋地区内 50 自治会へ「非接触型温度計」を購入し、測定時に被測定者側に「自治会に加入しましょう!」と書いたシールを貼付・掲示することで自治会加入の必要性を啓発しました。

越谷市自治会連合会荻島支部

新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が続く中、密集せずに行えるイベントとして、全世帯に花火を配布し、地区体育祭開催予定日であった日に各家庭で同時に花火を楽しんでいただく「荻島地区おうちで花火大会」を開催しました。

主催：毎日新聞社　令和３年使用交通安全年間スローガン

◆歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの　「ママなんで？　赤は止まると　習ったよ」

令和３年10月１日発行
こしがや自治連だより
（事務局　越谷市越ヶ谷四―二―一　越谷市役所市民活動支援課内
発行人　越谷市自治会連合会　会長　石﨑　一宏）

越谷市自治会連合会出羽支部

出羽地区自治会に、「出羽自治会加入促進事業」の名入りボート等を準備し、災害対策への準備をアピールし、自治会加入促進を図りました。

蒲生地区自治会連合会

各自治会において、様々な活動をより円滑に進めることができるよう、イベント時等に貸し出す会議用机及び拡声器を新調しました。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから、飛沫感染拡大防止用パーテーションを購入し、貸出をすることにより、感染リスクを減らし、自治会活動の停滞を防ぐことが期待されています。

南越谷地区自治会連合会

なんこし自治会優待カード協力店への啓発のぼりを設置しました。また、なんこし自治会優待カードの利用促進及び自治会未加入者へのリーフレットを作成しました。

南越谷地区 LINE 普及宣伝事業における抽選会の賞品の一つとして「なんこし自治会優待カード事業」の協力店舗で使える利用券を配布しました。

大相模自治会連合会

地区内在住者を対象にボッチャ大会を開催し、健康の増進を図るとともに、参加者相互のコミュニティづくりとレクリエーション活動の推進を図りました。また、大会名に「自治会加入促進事業」と冠し、広報などで周知することにより、自治会加入促進のための PR 活動を行いました。

越ヶ谷地区自治会連合会

新たに成人になった地域の若者に越ヶ谷地区自治会連合会の活動をアピールするため、新成人へのお祝いに際し、自治会連合会の啓発品としてボールペンを配布しました。また、自治会加入をすすめる際に配布できる粗品としてタオルを作成しました。

越谷市大沢地区自治会連合会

大沢地区自治会連合会のＨＰ「おおさわ」を立ち上げ、地区内の様々な行事や自治会活動について情報発信を行いました。

また、HP に自治会加入案内のページを設け、自治会に加入する意義やメリットについて紹介しました。

北越谷地区自治会連合会

自治会加入世帯に対し、防災関連啓発品を配布します。

３年間かけて計画的に啓発品を購入し、すべてを購入した後に、一斉に自治会加入世帯へ配布する予定となっています。

なお、令和２年度は事業開始２年目となります。

川柳地区自治会連合会

各自治会で自家発電機を備えることにより、台風などの自然災害や地震への防災対策に取り組んでいる事を地域住民に周知し、自治会活動の重要性や加入するメリットなどを自治会長や役員を通じて、伝えるとともに地域コミュニティの活性化を図る事ができました。

◆『架空請求』や『振り込め詐欺』が多く発生しています◆
不安を感じた場合は、すぐに警察署・消費生活センターなどに相談してください。